

第17回 全国生涯学習フェスティバル
まなびピア鳥取 2005
開催期間：平成17年10月9日(日)～15日(土)

日野郡の魅力再発見！

参加者募集



鉄穴流しの状況

紅葉を楽しみながら
奥日野・奥出雲に隠された
「神話・伝承」の地や
「たたら」に関わりが深い里
を訪ねてみませんか

神話とたたら の里を 訪ねる旅

平成17年

日時

11月13日(日) 8:20～16:30

定員

80名(先着順)

募集期間

10月11日(火)～10月21日(金)

参加費

3,000円(昼食代、入館料など)

申込・問合せ先

電話またはFAXのいずれかで申込みください。
TEL(0859)72-2083
FAX(0859)72-2072

コース案内



和鋼博物館 (安来) 15:15
たたら操業時の設備や器具の展示やハイビジョン画像やロボットによるたたら
の歴史・科学・流通を多角的に紹介

解散 16:30 **集合 8:20**

日南町美術館 9:45
①「鳥取県のたたら」展 見学
② 講演「鉄穴流しによる地形変化について」
貞方 昇氏(山口大学教育学部教授)

金屋子神話民俗館 (広瀬) 13:45
金屋子神社
金屋子神にまつわる神話やたたら師の
伝承、たたらにまつわる民話の紹介

(昼食) 12:00
ゆきんこ村四季彩
松茸ご飯弁当

日南町印賀地区 11:00
鉄穴流しの地形
樂樂福神社(福姫伝説)
ヤマタノオロチ神話
御墓山イザナミ伝説

主催 日野郡広域観光推進協議会・日野川の源流と流域を守る会

第3回 森・こころの健康まつり

〜学ぼう森のちから、みつめようこころの健康〜



昨年の様子



このまつりは、精神障害に関する正しい知識を学び、理解を深めることで、障害者に対する偏見を解消し、障害者が安心して暮らせる町づくりの一助になることをめざしています。今年度は『おしどりの地・日野町』で開催します。どなたでも無料で参加できますので、ぜひご参加ください。



ステージ発表

- ◆とき 平成17年11月17日（木）
午後1時30分～午後4時
- ◆ところ 日野町文化センター（日野町根雨）
- ◆内容 ○パネル展示、作業所バザー、管内の小規模作業所の紹介、ステージ発表等
○講演『うつ病について』（仮題）（午後2時30分～4時）
講師 はまざきクリニック院長 濱崎 豊氏
- ◆主催 日野総合事務所福祉保健局
こころの健康まつり実行委員会



問い合わせ先

担当 福祉保健局 保健衛生課
電話 0859-72-2037
奥田真由美



昨年度の森・こころの健康まつりの様子
トーク「障害者を地域で支えるために」

作業所バザーの紹介

- ★おしどり作業所
おしどりクッキー等
- ★日南作業所一歩
炭壁掛けなど
- ★セルプひの 自主作品



アイドリングストップのすすめ



アイドリングストップとは？

自動車等が走っていない時（つまり「駐車時」）にエンジンを止めることです。

- ◎ムダに燃料を使わない。
- ◎ムダに二酸化炭素を出さない。

ほんの少しエンジンを止めたくらいで効果があるのか？

一般的には5秒以上で効果があるといわれていますが、鳥取県ではガソリン車は10秒、ディーゼル車は30秒以上をアイドリングストップを行う時間としました。

自動車等は？

通常の自動車はもちろんですが、工事用車両（ブルドーザ、バックホウ等）、二輪車、原動機付自転車も含まれます。

自動車等を運転する者の責務を定めています。

信号機や渋滞による場合、その他やむを得ない場合を除き、駐車時にはエンジン停止を行わなければなりません。



【やむを得ない場合】

- * 緊急の場合
(緊急自動車、災害救助、医療活動等に使用している場合)
- * 人命・健康に関連する場合
(車内温度が高温（低温）になり乗員乗客の健康に危険を及ぼす場合)
- * 走行以外の動力として不可欠な場合
(冷蔵車、ゴミ収集車等)

駐車施設の設置者等の責務は？

駐車場等の施設を設置する者、又は管理する者は、アイドリングストップの実施の周知に努めることとなっています。

* 駐車場内では、アイドリングストップを行うべき場面が多いと思われま

認証制度とは？

駐車時等エンジン停止推進事業所（企業、法人）、駐車時等エンジン停止宣言者（個人、住民団体等）の申請に基づき、知事が認証します。

一人のドライバーが、毎日10分間アイドリングストップを1年間続けると…
乗用車（ガソリン車）では、10分間で0.14リットルの節約！



1年間で51.1リットル！
ガソリン代にすると、6,700円分の節約になります。
(130円/リットルで計算)

一人ひとりでは、小さな取り組みですが、みんなで行えば、大きな効果につながります。



米子南高 環境活動イメージキャラクター アス子さん

問い合わせ先

福祉保健局 保健衛生課
電話 0859-72-2039
担当 秋田 麻美

◎推進事業所
17社（平成17年8月10日現在）
◎宣言者
1,096人（平成17年8月10日現在）

出品米募集!

第3回とってもおいしい日野川源流米コンテスト

自慢の日野郡産コシヒカリの出品をお待ちしております!

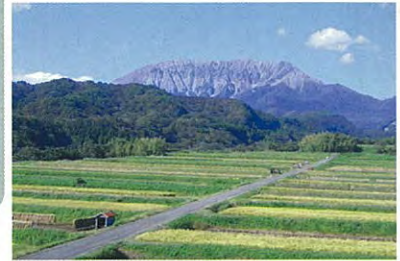
日野川源流米コンテスト実行委員会は、「日野郡産米のおいしさの探求」、「おいしい米の生産条件の把握」、「おいしい米の安定生産・販売推進PR」を目的として、米の食味コンテストを開催します。

【第3回とってもおいしい日野川源流米コンテスト出品募集要領】

- 出品米 平成17年日野郡産コシヒカリ(玄米)
※伯耆町溝口地区産を含む。
- 募集期間 平成17年9月15日(木)～10月21日(金)
- 募集方法 出品米3合を下記掲載の出品票に記載の上、日野郡各町及び伯耆町農業担当課、JA鳥取西部日南営農センター・日野伯耆営農センター・日野郡各町及び溝口町支所のいずれかにご持参ください。



日野川源流(日南町湯河)



水田風景(江府町御机)

- 審査方法 食味分析値により入賞米を選抜、最優秀賞の中から米食味鑑定士等が官能試験を行い、グランドチャンピオンを決定します。
- 表彰式
 - 日時 17年11月4日(金)午前9時から午後1時まで
 - 場所 日野町山村開発センター
 - 表彰 グランドチャンピオン1名、最優秀賞、優秀賞、優良賞若干名

なお、入賞者に対して賞状、賞品を授与します。
- その他 上位入賞者には、別途表彰式の御案内をいたします(その際、表彰当日の試食会用として出品米を1升程度買い取らせていただきます。)
- 主催 日野川源流米コンテスト実行委員会(日南町・日野町・江府町・伯耆町鳥取西部農業協同組合・日野郡産米改良協会・鳥取県日野総合事務所)
- 問合せ先 同実行委員会事務局(日野総合事務所農林局農業振興課内)電話0859-72-2006 担当 きしだ あつし 岸田 淳



第2回コンテスト(H16.11)

第3回 とってもおいしい日野川源流米コンテスト出品票

生産者住所	日野郡 町大字 字	ふりがな	年	
	電話 ()	生産者氏名	齢	歳
ほ場所在地	日野郡 町大字 字	土づくり	資材名	施用量(kg/10a)
育苗方法 いずれかに○をしてください。	①自家採種種子を自家育苗 ②JAから種子を購入し、自家育苗 ③育苗センター購入苗	元肥	資材名	施用量(kg/10a)
農産物の種類 いずれかに○をしてください。	①慣行栽培農産物 ②特別栽培農産物(※) ※化学肥料、農薬の使用が慣行の5割以下。	追肥	資材名	施用量(kg/10a)
※楷書で丁寧に御記入下さい。		播種日	田植日	収穫日

水田畦畔におけるセンチピードグラスの 生育状況と今後の管理法 (第4報)

水田畦畔における雑草管理の省力化を図るため、「日野郡水田農業活性化プラン」に基づき、平成15年度からセンチピードグラス(以下「芝」という。)の展示ほを設置し、その調査結果を本誌第14号「水田畦畔におけるセンチピードグラスの生育状況(第3報)」で報告したところですが、今回はその後の調査結果及び今後の管理法を報告します。

1 現在までの調査結果及び今後の管理法

① 新規造成畦畔での生育

芝は播種及びポット苗移植ともにほ場全面に定着しています。しかし、継続的に草刈り労力を軽減させるためには、芝が優占種になるまで、1〜2年間は一般雑草の草刈りが必要です。

(展示ほの状況)

・ 江府町武庫畔の上法面は地力のない真砂土で、定植後3年目の芝の生育は遅れています。雑草は全体的に発生量は少ないものの、水田土壌が混ざっている所では繁茂しており、年1回田植え前の草刈りが必要です。

・ 日野町津地(写真1)法面は砂壤土で肥沃なため、定植後2年目の芝は全面に生育しています。また、草丈は長いもので40cmに達しており、年1回田植え前の草刈りが必要です。

② 既存畦畔での生育

播種では場全面に定着している事例、ポット苗移植で一部しか定着していない事例があります。このため、芝を定着させ草刈り労力を軽減させるには、播種等の作業の前に一般雑草の密度を低下させ、また芝が優占種になるまで、1〜2年間は一般雑草の草刈りが必要です。

(展示ほの状況)

・ 江府町宮市(写真2)天端は砂壤土で、雑草が多く生育しているものの定植後3年目の芝の生育は良好で、草刈りは田植え前・収穫前の2回必要です。

・ 日南町阿毘縁法面はクロボク土で、移植した定植1年目の芝が所々に生育している程度で雑草の生育が勝っており、草刈りは年4回必要です。

2 今後の計画

既存畦畔における効果的な芝の定着方法や新たに導入したヒメイワダソウの定着方法については、日南町大菅、江府町州河崎に設置した展示ほで調査を行っており、今後報告する予定です。

写真1
日野町津地



写真2
江府町宮市



問い合わせ先
農林局 農業振興課
電話 0859-72-2004
担当 松岡 昭博

風倒木被害の復旧状況

昨年の台風23号による山林の風倒被害の復旧のため、平成20年までに1000ヘクタール余りの被害木の整理や造林を計画しており、本年度中にその約6割の復旧を目指して取り組んでいます。7月末までに、本年度の計画面積のおよそ3分の2に当たる40ヘクタール余りが事業に着手され、作業が進められています。

安全な処理作業の徹底を！

「適地適木」が大原則！

風倒木の伐採処理は、とても危険を伴う作業です。伐採処理上の基本的なルールをしっかりと守り、特に十分な注意を払いながら作業を行いましょ。

風倒被害地にケヤキ・クヌギなど将来的にも需要が期待される広葉樹を植える場合も、まずその土地にあった樹種を選ぶことが大切です。広葉樹は、下刈りの時に誤って刈り払ってしまうやすいので、杭などの目印を付けましょう。

※問い合わせは、町・森林組合・県農林局林業振興課まで。

風倒木の復旧状況（日南町神福）

【復旧前】



【復旧後】



風倒木被害対策の支援

〈目的〉	〈事業名〉	〈補助率(国・県・町)〉
被害跡地の整理・造林	森林災害復旧事業（日南町）……………	88/100 〈90/100〉
	（激甚災害法）	
	〈造林事業〉	
	指定被害地造林事業（日南町）…	84/100 〈90/100〉
	被害跡地造林（日南町以外）……	72/100 〈84/100〉
作業道の開設	森づくり作業道整備事業……………	80/100
風倒木の整理	被害木整理事業……………	2/3
風倒木の搬出利用	風倒木搬出・活用事業……………	2/3
風倒木の安全処理	風倒木整理機械化推進事業……………	65/100

※ 〈 〉 内：広葉樹造林

問い合わせ先 農林局林業振興課 森 勇樹 電話0859-72-2021

電気牧柵を用いた和牛放牧の紹介

1 電気牧柵を用いた脱牧（放牧場から牛が脱走すること）対策

日野郡の各町には、和牛放牧場があり、それぞれ20〜30頭の和牛繁殖雌牛が5月上旬から11月上旬まで放牧されています。

放牧場は有刺鉄線で囲まれています。昨年、江府町瓜菜沢の放牧場では脱牧（放牧場から牛が脱走すること）があり、その対策として、今年から有刺鉄線の内側の一部（脱牧しやすい所）に電気牧柵を併設しました。電気牧柵は電気ショックにより放牧牛の行動範囲を制限するもので、基本的にはイノシシ用の電柵器と同じものです。人が触ると電気ショックがありますがビリッとするだけで危険なものではありません。この電気牧柵を設置してからは、瓜菜沢放牧場では脱牧がなくなりました。

2 電気牧柵を用いた和牛放牧

日野郡内ではまだ多くありませんが、耕作放棄地対策として電気牧柵を用いた和牛の放牧が全国的に盛んに行われています。電気牧柵の設置は、従来の放牧施設に比べ安価で省力的に設置できるため、点在する耕作放棄地の放牧に向いていると言えます。

耕作放棄地に和牛放牧を行うと繁殖農家は管理の省力化と飼料費の削減ができ、地域にとっては景観を改善すると共にイノシシの出没を抑制し、農作物被害を少なくする効果があります。地域の景観を維持していくため、耕作放棄地対策の一つとして和牛放牧を考えてみてはいかがでしょうか。



瓜菜沢放牧場に設置した電牧器



電気牧柵による放牧



放牧前の耕作放棄された土地



電気牧柵による放牧後の状況

問い合わせ先
農林局 日野農業改良普及所
電話0859-72-2027・2028
担当 入江、池岡

調査対象地区（赤枠内）



問い合わせ先
 県土整備局 維持管理課
 電話 0859-72-2044
担当 和田 淳史

今回調査実施対象となるのは、上図赤枠で囲ってある江戸町（日野川左岸地区）・日野町（全域）・日南町（生山〜三栄間のうち、日野川沿いの箇所）です。
 なお、日南町の残りの箇所は、平成18年度に実施する予定です。

県土整備局では、現在、日野郡江戸町（日野川右岸地区）において、土砂災害防止法に基づく基礎調査を行っています。ですが、今秋以降、江戸町（日野川左岸地区）・日野町・日南町（一部地域）での調査に着手します。
 この調査では、地形図を用いた机上での作業のほか、現地に立入って測量等を行います。現地への立入りについては、事前に各地区区長さんを対象に、調査の趣旨、作業内容及び調査時期等の説明をします。
 （説明会の時期については、別途お知らせします。）

土砂災害防止法に基づく調査を行います。

黒坂橋（日野町・黒坂）



日野郡の宝もの
 歴史的・文化的資産を訪ねる

国道180号から日南町上石見方面（一般県道上石見黒坂停車場線）、日野町黒坂方面（主要地方道日野溝口線）との分岐の交差点から、黒坂へ入る日野川に架かる橋が黒坂橋です。
 この橋は昭和11年に架かった橋で、架橋後70年近く経過する鉄筋コンクリートのT桁橋で5径間の橋梁です。中央径間部は今では珍しくなったゲルバーヒンジで構築されています。



土砂崩落時の状況



迂回路図

一般国道183号河上地区 土砂崩落箇所 の災害対策の 取組について

一般国道183号の日南町河上地区において、昨年の台風23号の風倒木災害による交通止め引き続き、去る7月4日には、梅雨前線豪雨に伴い再度、土砂崩落災害による全面通行止となりました。

日野総合事務所では、崩落箇所及び付近の崩落の危険性の高い箇所
の防災対策を強化し、安全安心な交通を確保するため、次頁のような総合的な対策を行うこととしています。

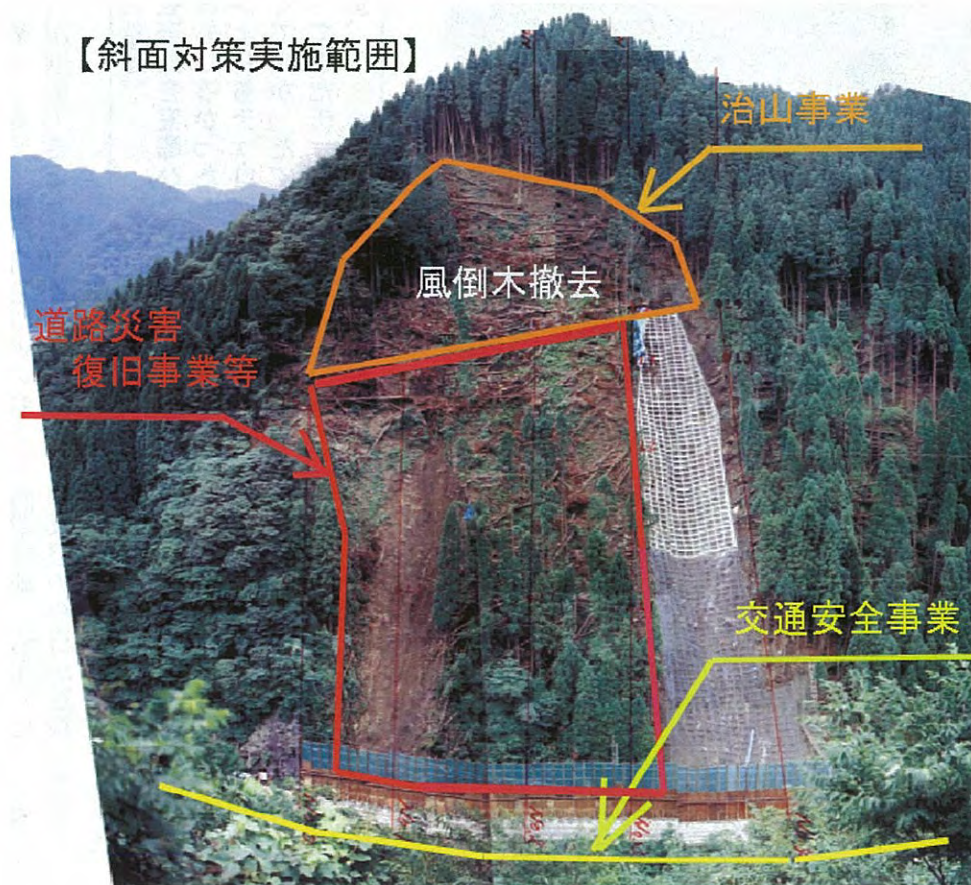
なお、この地区は、防災対策上も雨量規制対象区間なっています
が、対策工事が完了するまでの間、連続雨量150ミリ、時間雨量30ミリで全面通行止を行うこととしています。

地域住民の皆さまをはじめ道路利用者の方には多大なご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

〈河上地区の総合的な対策の概要〉

項目	対策内容
1 監視体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 雨量計、監視カメラ、観測局舎等の設置 通報システムの整備
2 上部風倒木対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> ヘリによる倒木の搬出
3 斜面对策の実施	<ul style="list-style-type: none"> 道路災害復旧事業、治山事業、道路災害防除事業により崩落箇所及び崩落危険箇所の法面对策工の実施
4 交通安全事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 再度災害防止のため国道を河川側へ拡幅するとともに、落石防護柵を山側に設置
5 国道の安全向上	<ul style="list-style-type: none"> 前後区間 (L=2km) における斜面の危険度調査を行い、安全安心な交通確保対策の検討

【斜面对策実施範囲】



問い合わせ先
 県土整備局 計画調査課
 電話 0859-72-2051
 担当 坂本 繁久